

鳥取駅周辺再整備について

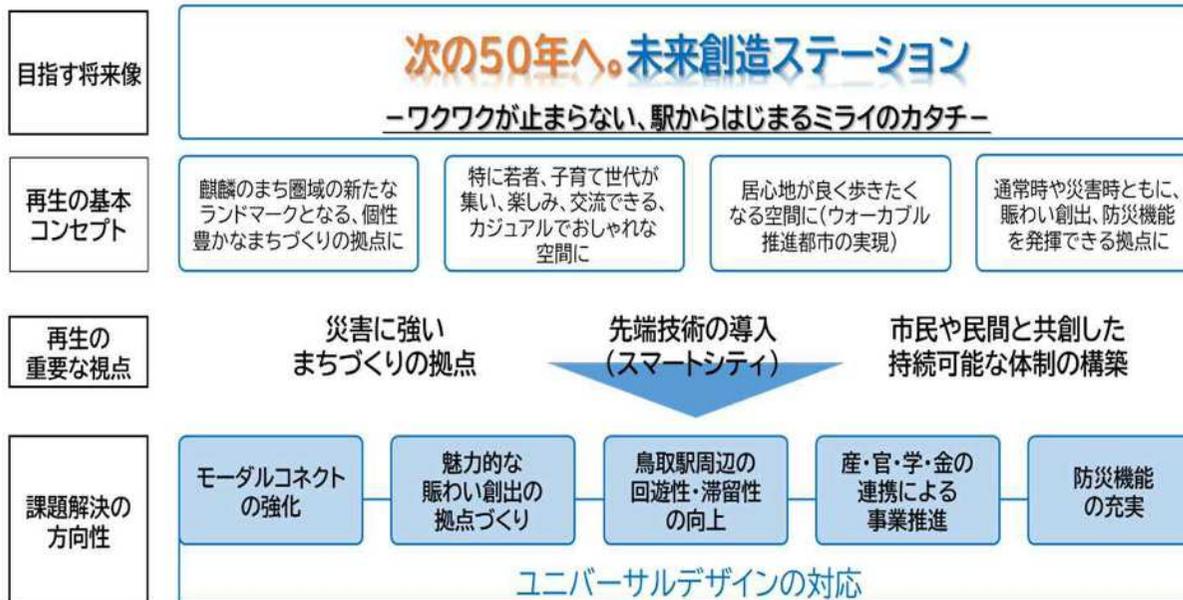
令和8年2月4日

1. 鳥取駅周辺再生基本計画について	・・・・・・・・・・	1
2. 鳥取駅周辺の現状	・・・・・・・・・・	2～3
3. これまでの検討状況		
1) 鳥取駅周辺駅まち空間検討平面図（案）	・・・・・・・・・・	4
2) デザインイメージ	・・・・・・・・・・	5～6
4. 各種団体との意見交換について	・・・・・・・・・・	7～8

鳥取駅周辺再生基本計画（令和6年6月）

次の50年へ。未来創造ステーション
 -ワクワクが止まらない、駅からはじまるミライのカタチ-

- 若者が暮らし続ける持続可能なまちづくりを進めるためには、山陰東部圏域のエントランスである鳥取駅周辺を再生し、中心市街地に賑わいを取り戻すことで、**地域への誇りや愛着(シビックプライド)を醸成**することが必要。
- 市民がワクワクする鳥取駅周辺に再生することで、鳥取駅を舞台に**ヒト・モノ・コトが集積し、交流の輪が人材を育成し続ける**まちづくりの好循環を生み出すための基本的な方向を示すもの。



▲基本計画のビジョン

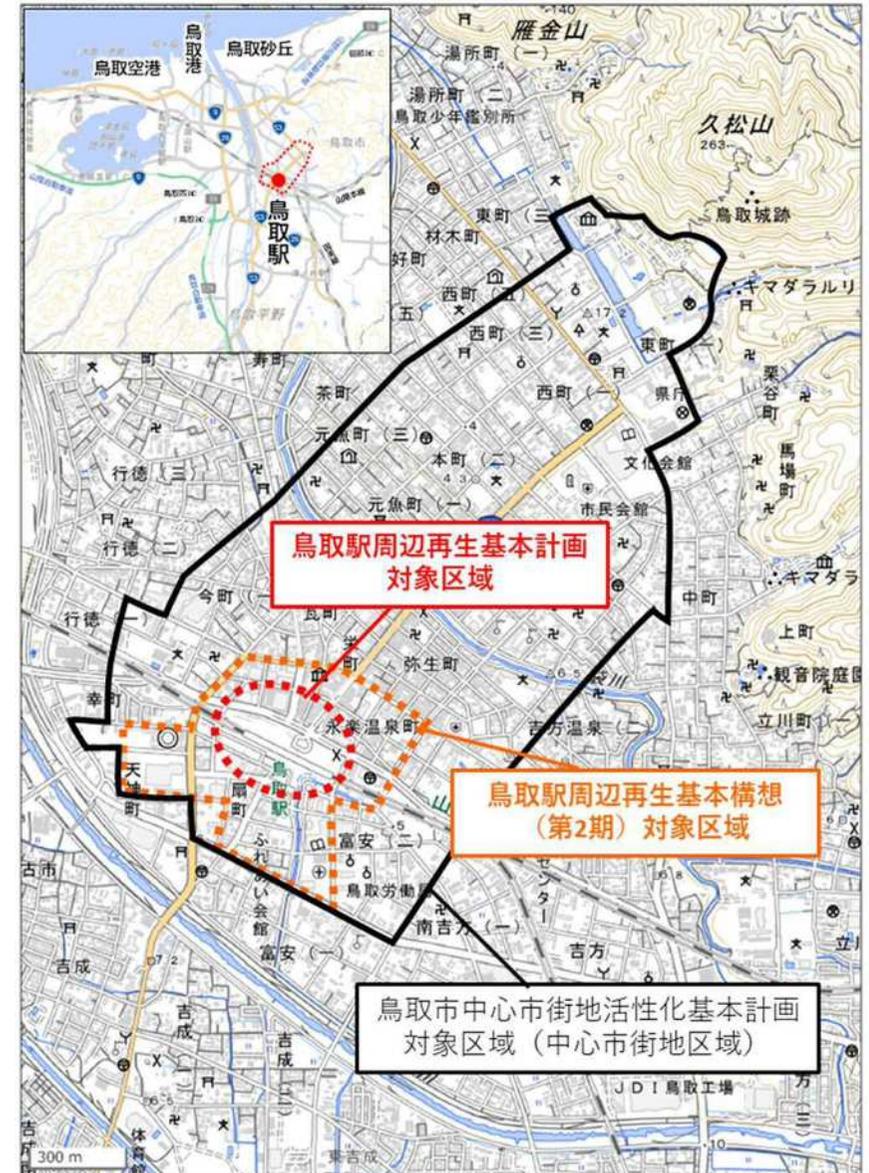


図 計画の対象範囲

出典 地理院地図ほか

鳥取駅周辺の現状

鳥取駅周辺は、施設などの老朽化が進み、利便性が低下するなど、時代のニーズに沿った対応などが求められている状況です。

1 薄暗く、寂しい印象のケヤキ広場

2 ケヤキ広場内の喫煙スペース
 ・煙、臭いなどによる環境問題

3 バリアフリー化未整備の地下通路
 ・老朽化が進み雨天時に雨が侵入

4 まちなかへの限られた横断歩道

5 自家用車の乗入とタクシー駐車場の混在による自動車交通の輻輳

6 老朽化が進む風紋広場
 ・利活用の促進による賑わい創出

7 老朽化が進む市営駐輪場
 ・電動キックボードなど新たなモビリティへの対応

8 わかりづらい、利用しづらい立地
 【鳥取市国際サポートセンター】

9 狭小スペースによる案内機能不足
 【鳥取市観光案内所】

10 高速バス乗り場の分散

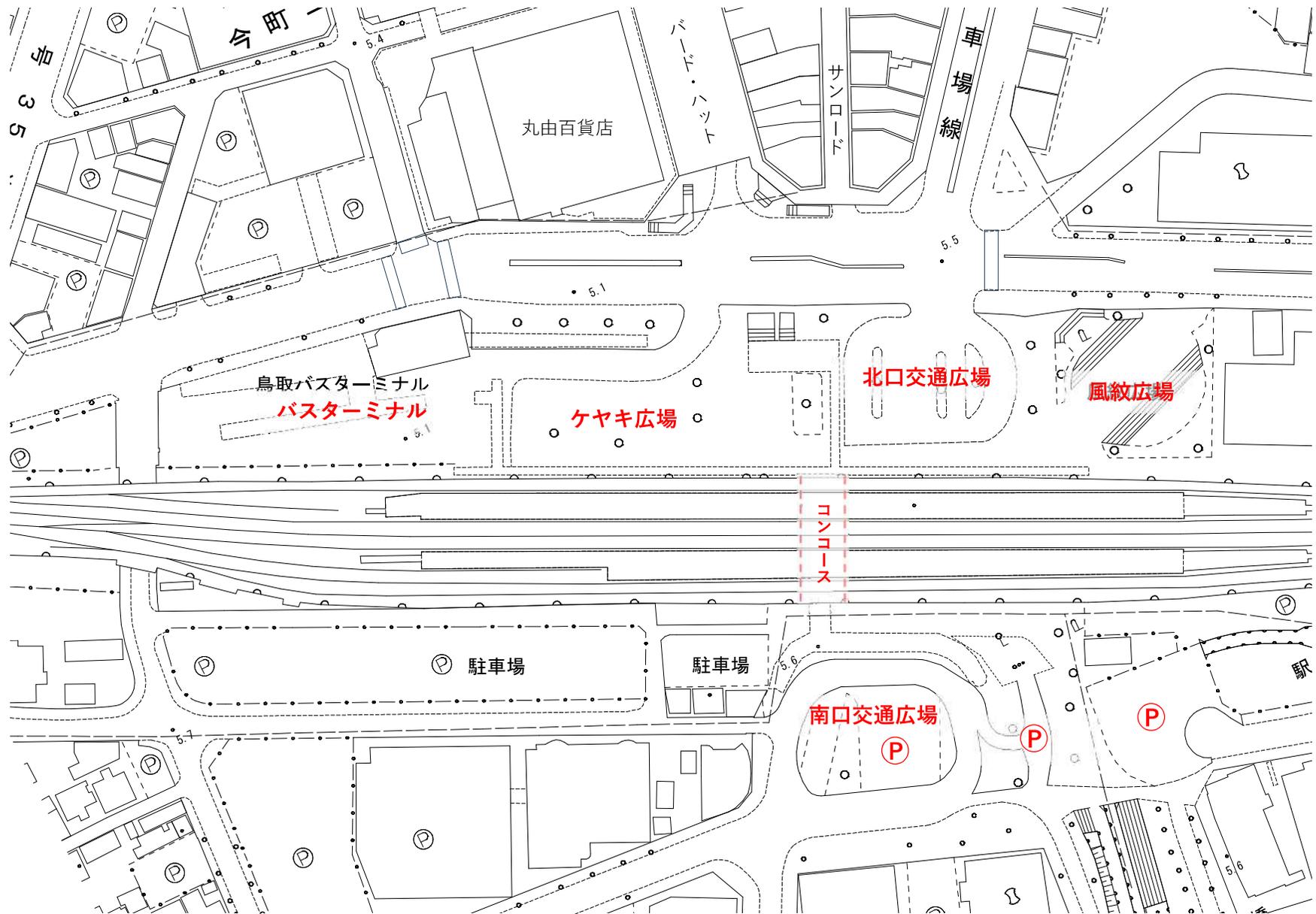
11 自家用車、タクシー、バスの混在による自動車交通の輻輳

12 老朽化が進む鳥取バスターミナル
 ・待合環境の改善

13

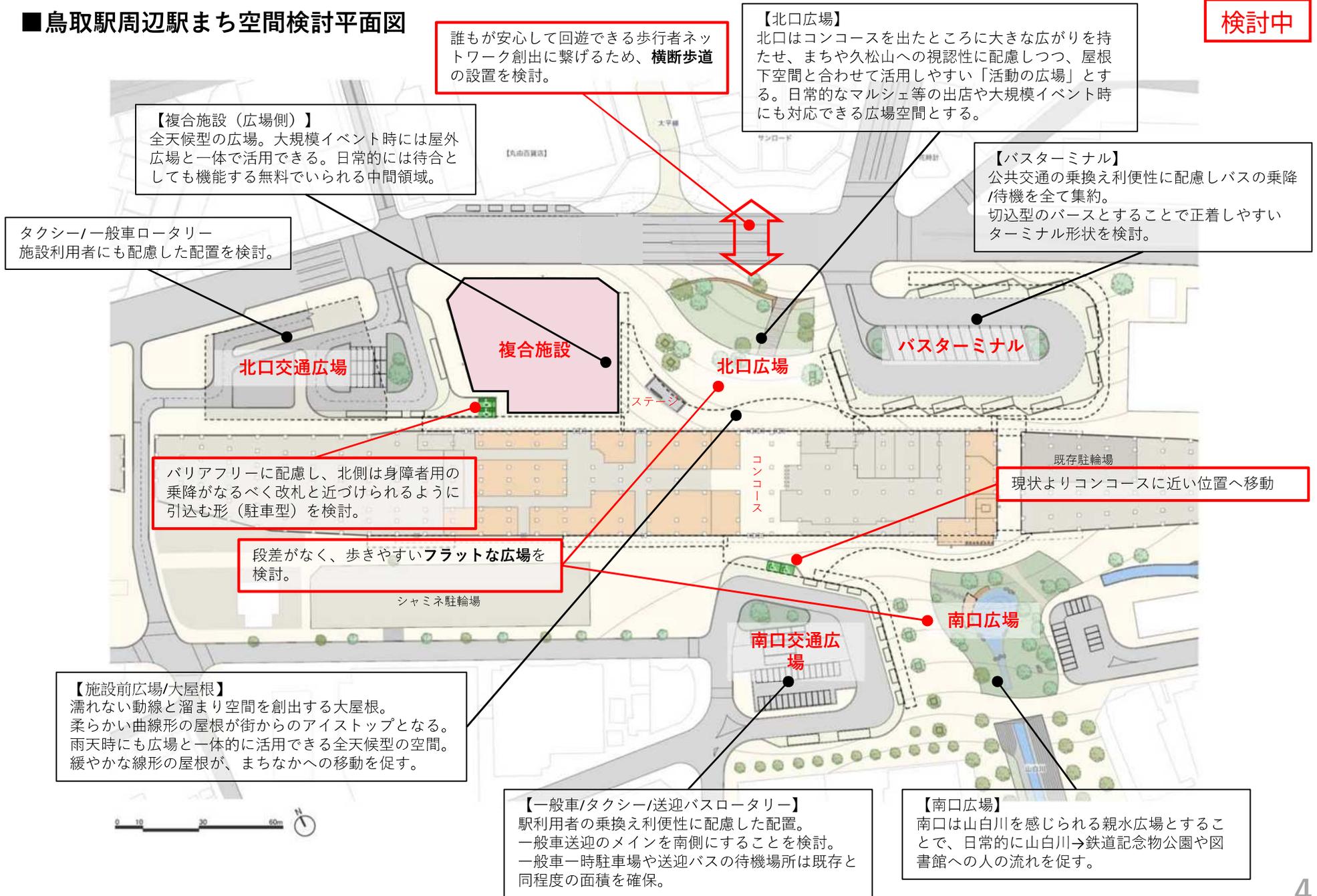
14 バス、一般車、歩行者、自転車の動線が錯綜

■鳥取駅周辺平面図（現況）



■鳥取駅周辺駅まち空間検討平面図

検討中



誰もが安心して回遊できる歩行者ネットワーク創出に繋げるため、**横断歩道**の設置を検討。

【北口広場】
北口はコンコースを出たところに大きな広がりを持たせ、まちや久松山への視認性に配慮しつつ、屋根下空間と合わせて活用しやすい「活動の広場」とする。日常的なマルシェ等の出店や大規模イベント時にも対応できる広場空間とする。

【複合施設（広場側）】
全天候型の広場。大規模イベント時には屋外広場と一体で活用できる。日常的には待合としても機能する無料でいられる中間領域。

【バスターミナル】
公共交通の乗換え利便性に配慮しバスの乗降/待機を全て集約。切込型のバスとすることで正着しやすいターミナル形状を検討。

タクシー/一般車ロータリー施設利用者にも配慮した配置を検討。

現状よりコンコースに近い位置へ移動

バリアフリーに配慮し、北側は身障者用の乗降がなるべく改札と近づけられるように引込み形（駐車型）を検討。

段差がなく、歩きやすいフラットな広場を検討。

【施設前広場/大屋根】
濡れない動線と溜まり空間を創出する大屋根。柔らかい曲線形の屋根が街からのアイストップとなる。雨天時にも広場と一体的に活用できる全天候型の空間。緩やかな線形の屋根が、まちなかへの移動を促す。

【一般車/タクシー/送迎バスロータリー】
駅利用者の乗換え利便性に配慮した配置。一般車送迎のメインを南側にすることを検討。一般車一時駐車場や送迎バスの待機場所は既存と同程度の面積を確保。

【南口広場】
南口は山白川を感じられる親水広場とすることで、日常的に山白川→鉄道記念物公園や図書館への人の流れを促す。

〈駅舎・大屋根のデザインイメージ〉

▼日常的なマルシェ等の出店や、大規模イベント時にも対応できる広場空間。
アイストップとなる大屋根は濡れない動線にもなり、まちなかへの移動を促す。



鳥取駅北側上空から広場を見る



鳥取駅北口からまちなかを見る

◀まちや久松山への視認性に配慮した北口広場。
パードハット・サンロードなどまちなかとのつながりを創出。



各種団体との意見交換について

令和7年12月4日 移動等円滑化協議会委員との意見交換

項目	④障がい者団体との意見交換
バリアフリー設備・情報保障に関して	<ul style="list-style-type: none">○今後、点字ブロックの配置検討があるのか確認したい。○視覚情報（災害時の文字放送・非常ランプ点灯等）への対応についても今後の協議としたい。○駅から丸由百貨店・ニューオータニへの移動において、高齢者や障がい者にとっては、階段の昇降が支障となるため、平面移動できるようにして、足の悪い高齢者や障がいのある方も楽しめるような空間にしていきたい。○風紋広場でのライトアップ機能（がん、認知症、国際手話言語の日など啓発イベントを実施中）を継続できるよう考えていただきたい。
交通広場・送迎動線に関して	<ul style="list-style-type: none">○現在、タクシー・自家用車の送迎等に現在の北口交通広場が多く使われているが、駅北側の交通広場がコンコースから遠くなる印象がある。 ⇒（事務局）駅南北の交通広場で機能を分担を前提に南口交通広場が送迎のメインとなることを説明。○送迎のメインを南側へ変えることで、交通流動が大きく変化するため、特定の道路へ交通が集中しないよう、駅利用の定時性を確保するための渋滞対策や歩行者が歩きにくくならないよう検討していただきたい。
複合施設・滞在環境に関して	<ul style="list-style-type: none">○改札を出てすぐ商業施設がなく集客面で不利な印象。 ⇒（事務局）複合施設による集客を期待。駅周辺に波及する動線も検討する旨を説明。○若者向けに無料で滞在できる場所が必要であるが、一方で、24時間開館は治安面の懸念。○駅から複合施設や交通広場までの間が暗くならないよう、JRの最終便くらいまでは電気が点いているように照明計画にも配慮が必要。○複合施設内に鉄道・バスの時刻表表示が必要。

※移動等円滑化協議会委員（有識者、利用者団体）5名との意見交換

各種団体との意見交換について

R8.1.16 身体障がい者福祉協会との意見交換

意見抜粋

- ・地下道やデッキになると目の悪い人は使えないし、車いすの方も同じ。そもそも車いすの方はエレベーターのボタンを押すのでも大変なので、平面やスクランブルで繋がるほうがいい。
- ・配置は支障ないが、車いす駐車場については一般の人が停めてしまい、必要としている人が使えないことがよくある。マナーの問題もあるが、一般車が停められないような対策をしてもらいたい。



R7.11.11 鳥取県立養護学校 中等部でのワークショップ

R7.12.21 鳥取県立養護学校 高等部 //

意見抜粋

- ・誰もが安心安全に利用しやすい空間がいい。
- ・コンコースの出入り口は開き戸でドアが重たく、車いすでは開けることができない。また、幅もギリギリで通れるか不安に感じることもある。
- ・車いすで利用できる自販機などが設置してあっても位置がどこにあるかを調べないといけないうちは使えない。わかりやすい案内が欲しい。



今後も引き続き、各障がい者団体等と個別協議を継続して実施していきます。

- ・R8.2上旬 鳥取県聴覚障がい者協会員に対するアンケート調査の実施を予定